

株式会社アバールデータ

2011年3月期 決算説明会

(2011年5月19日 サンケイプラザ 310号室)



会社概要と業績報告

(第52期 2010年4月－2011年3月)

中期経営計画概要

(第53期 2012年3月期－第55期 2014年3月期)

ご報告内容

1. 会社概要
2. 第52期 決算 業績報告
第53期 通期 業績予想
3. 第53期-第55期 中期経営計画概要



株式会社アバールデータ 会社概要 2011年3月期



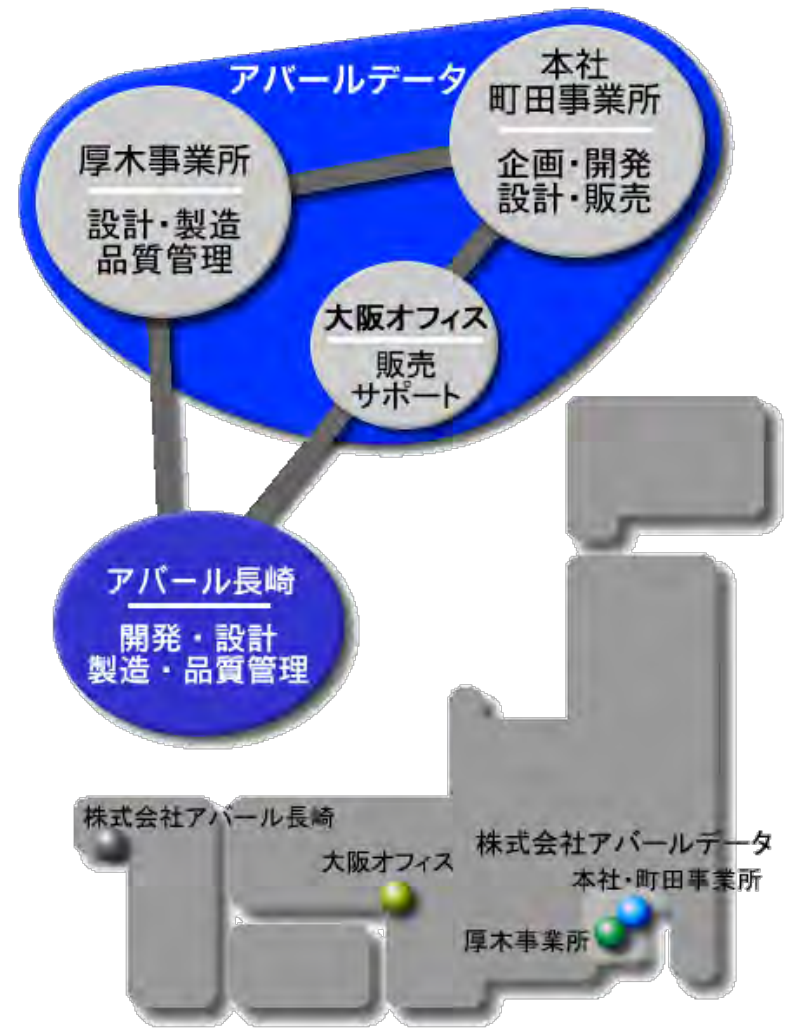
私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

2011年5月19日



株式会社アバールデータ

本社・町田事業所 東京都町田市旭町 1-25-10
 厚木事業所 神奈川県厚木市金田 1041
 代表取締役 嶋村 清
 会社設立 1959年8月
 資本金 23億5,409万円
 従業員 175名
 JASDAQ店頭公開 1991年
 ISO9001認証取得 1995年
 ISO14001認証取得 2001年



株式会社アバール長崎

本社 長崎県諫早市津久葉町6-42
 情報機器営業部 神奈川県厚木市中町4-10-2
 代表取締役 川浪 義光
 会社設立 1987年11月
 資本金 1億3,400万円
 従業員 125名
 ISO9001認証取得 1996年
 ISO14001認証取得 2006年



沿革

- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立
- 1979 ○ 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表
- 1985 ○ 68000プロセッサを搭載したVME busボードコンピュータを開発
- 1987 ● 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
- 1988 ○ 画像処理製品の開発プロジェクトを発足
- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更
- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録(現JASDAQ)
- 1995 ● 品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得(株アバール長崎:1996年取得)
- 1996 ○ (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化
- 2001 ● 環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得(株アバール長崎:2006年取得)
- 2003 ● (株)アクセルと画像描画・伸張LSI応用システム製品事業の協業で合意
- 2007 ○ PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組込みと単体のサンプル出荷開始
- 2007 ● 東京エレクトロデバイス(株)とLSI・ボード販売等に関して業務提携
- 2010 ○ PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組込み開始
- 2010 ○ 日本インダストリアルイメージング協会にてCoaXPress分科会を発足 規格標準化に取り組む

関連事業分野と利用製品

世の中の商品とつながっているアバールデータの製品

アバールグループ

アバール
データ

アバール
長崎



アバールグループの製品

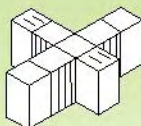
半導体
製造装置

検査装置
計測機器

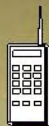
FA用
制御機器

CTI
関連機器

電力
省エネ機器



アバールグループの製品が使用される組込機器



アバールグループの製品が組込まれた機器で製造された製品(最終製品)

産業用装置

高信頼性(止まらない)

高速性(大容量のデータ)

長期供給(製品寿命)

要求

要求

さまざまな使用環境

24時間フル稼働

長期間運用(15年~30年)

工場・公共施設等

「組み込み製品」とは？

アバールデータの主要なビジネスである組み込み製品の「組み込み」とは何でしょうか？



組込製品

頭脳

- 半導体製造装置・産業用ロボットの制御
- Intel系、PowerPC系の最新プロセッサに対応
- OS、ミドルウェア、ドライバーなどを提供

画像処理製品

眼

- 産業用機器で欠陥検査・形状認識などに応用
- 画像取り込みから画像処理までフルラインナップ
- 画像処理ソフト、ライブラリーも提供

通信
GiGA CHANNEL
CTI・リモート監視

神経
音声

- 大量のデータを超高速で確実に伝送、業界最高速
- 独自開発のLSIを搭載、機能とコストで差別化
- アナログ通信からIP伝送まで国内随一の技術、音声対応、FAXサーバー等
- サーバーや電力機器の遠隔監視・管理システム

スマート電源

ECO

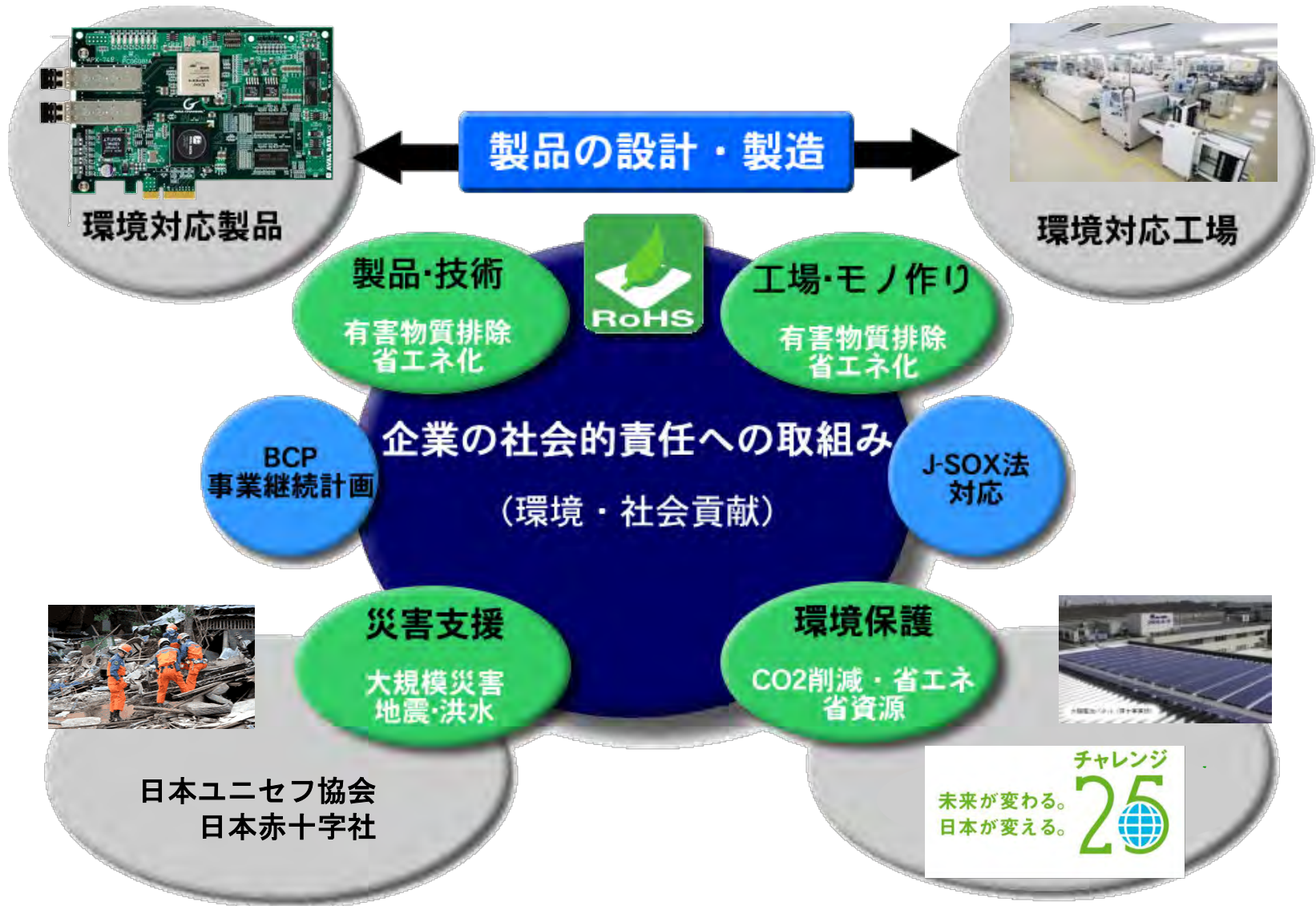
- スマートパワーソリューション、自律的エネルギー制御システム
- DC/DC、DC/AC、コンバーター/インバーター
- 太陽光発電制御・風力発電制御・蓄電池制御

D/A変換
A/D変換

変換

- 信号発生器の機器に組込まれる
- 測定器・計測器の高速取込に組込まれる
- 計測アルゴリズムを提供

CSR経営（企業の社会的責任への対応）



環境対応製品

製品の設計・製造

環境対応工場

製品・技術

有害物質排除
省エネ化



工場・モノ作り

有害物質排除
省エネ化

企業の社会的責任への取組み

(環境・社会貢献)

BCP
事業継続計画

J-SOX法
対応



日本ユニセフ協会
日本赤十字社

災害支援

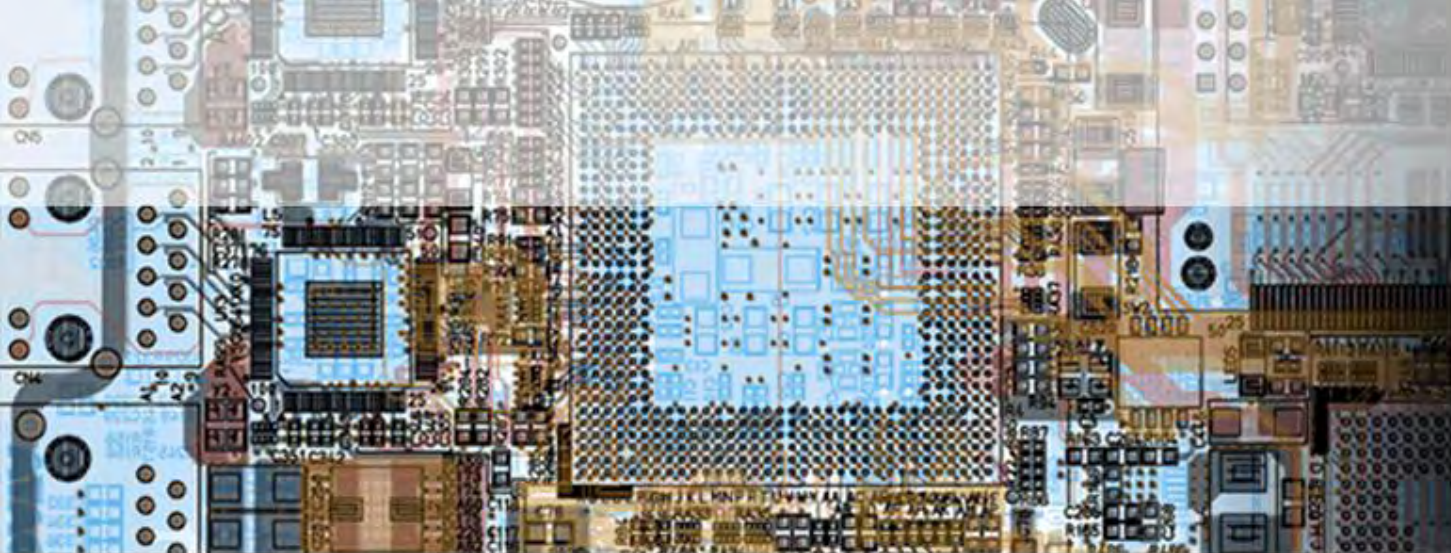
大規模災害
地震・洪水

環境保護

CO2削減・省エネ
省資源



チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。
25



第52期(2011年3月期) 決算説明会

[期間: 2010年4月1日-2011年3月31日]

第53期(2012年3月期) 業績予想説明会

[期間: 2011年4月1日-2012年3月31日]



2011年3月期 決算業績

単位: 百万円(百万円未満四捨五入)

品目		第52期2011年3月期 (通期実績)			
		連結		個別	
セグメント	品目	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率
自社製品	組込モジュール	708	92.1%	709	99.3%
	画像処理モジュール	637	80.8%	638	80.6%
	計測通信機器	666	10.2%	268	94.3%
	自社製品関連商品	178	64.9%	158	104.3%
	小計	2,189	52.8%	1,773	91.8%
	セグメント利益	389	—	331	—
受託製品	半導体製造装置関連	3,353	91.4%	2,713	86.4%
	産業用制御機器	864	20.2%	213	75.8%
	計測機器	642	13.1%	231	38.8%
	小計	4,858	59.9%	3,157	81.1%
	セグメント利益	712	—	491	—
売上合計		7,048	57.6%	4,929	84.8%
営業利益		624	(△184)	512	(△206)
経常利益		697	(△ 40)	590	(△ 88)
当期純利益		496	(46)	451	(31)

(注)「前年同期増減率」は、第51期比。カッコ内は、前年の実績値。セグメント利益は実績のみ記載。連結各セグメント利益合計1,101百万円と営業利益585百万円との差額516百万円はセグメントに属さない全社費用等(個別も同様)。

◆ 組み込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般の需要の急回復に加え、半導体製造装置関連の好転により、売上高は大幅に増加

→ 売上高708百万円(前年同期比92.1%増)



◆ 画像処理モジュール分野(自社製品)

- 新分野での新製品の販売が貢献したことにより売上高は大幅に増加

- 液晶関連機器の設備投資の回復、FA全般が回復

→ 売上高637百万円(前年同期比80.8%増)

◆ 計測通信機器分野(自社製品)

- 新規顧客開拓により受注が大幅に増大

- 特定顧客向けCTI製品の大口継続需要が一段落

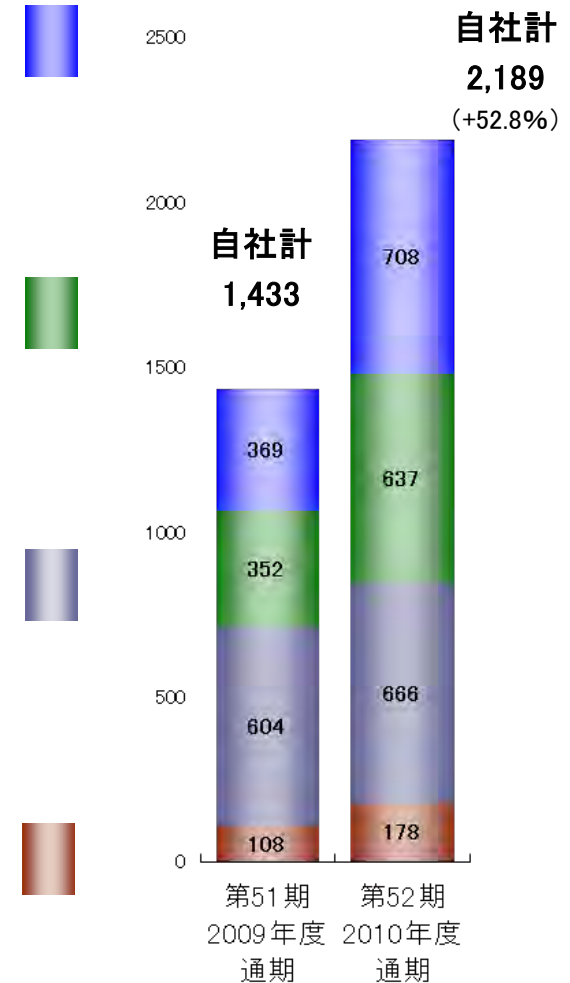
→ 売上高666百万円(前年同期比10.2%増)



◆ 商品(自社製品関連)

- 自社製品全般が回復に転じたことにより、売上高は大幅に増加

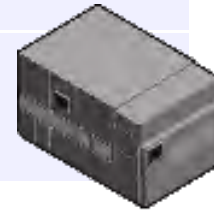
→ 売上高178百万円(前年同期比64.9%増)



自社製品・品目別売上
単位:百万円

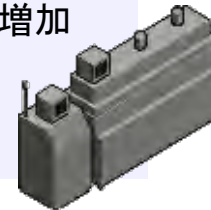
◆ 半導体製造装置関連分野(受託製品)

- 前期後半からの回復が持続し、受注が期を通して増大したため、売上高は大幅に増加
 - 半導体メーカーの設備稼働率の改善により大手半導体メーカーの設備投資が再開
- 売上高3,353百万円(前年同期比91.4%増)



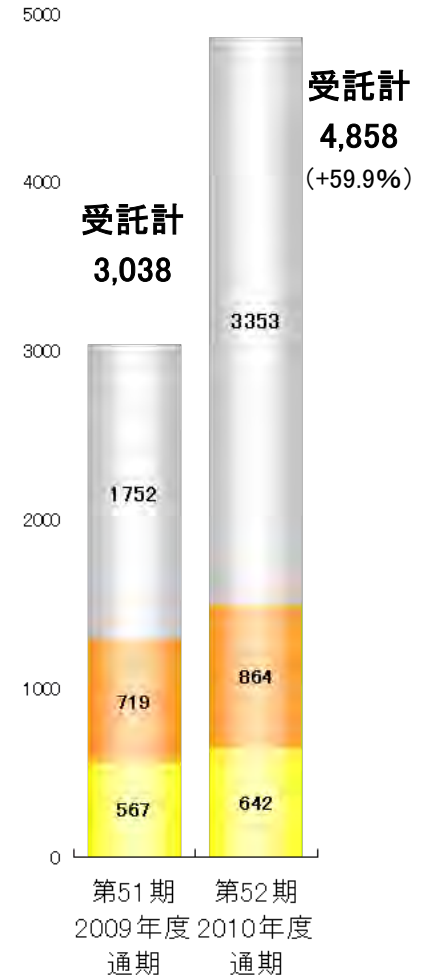
◆ 産業用制御機器分野(受託製品)

- 産業用機器、分析機器等の本格的な回復には至らずも売上は増加
 - 昨年はじめよりFA全般で受注改善の兆しが見られ今後に期待
- 売上高864百万円(前年同期比20.2%増)



◆ 計測機器分野(受託製品)

- 主力の電力関連及び工業用計測機器の回復により売上増加
- 売上高642百万円(前年同期比13.1%増)



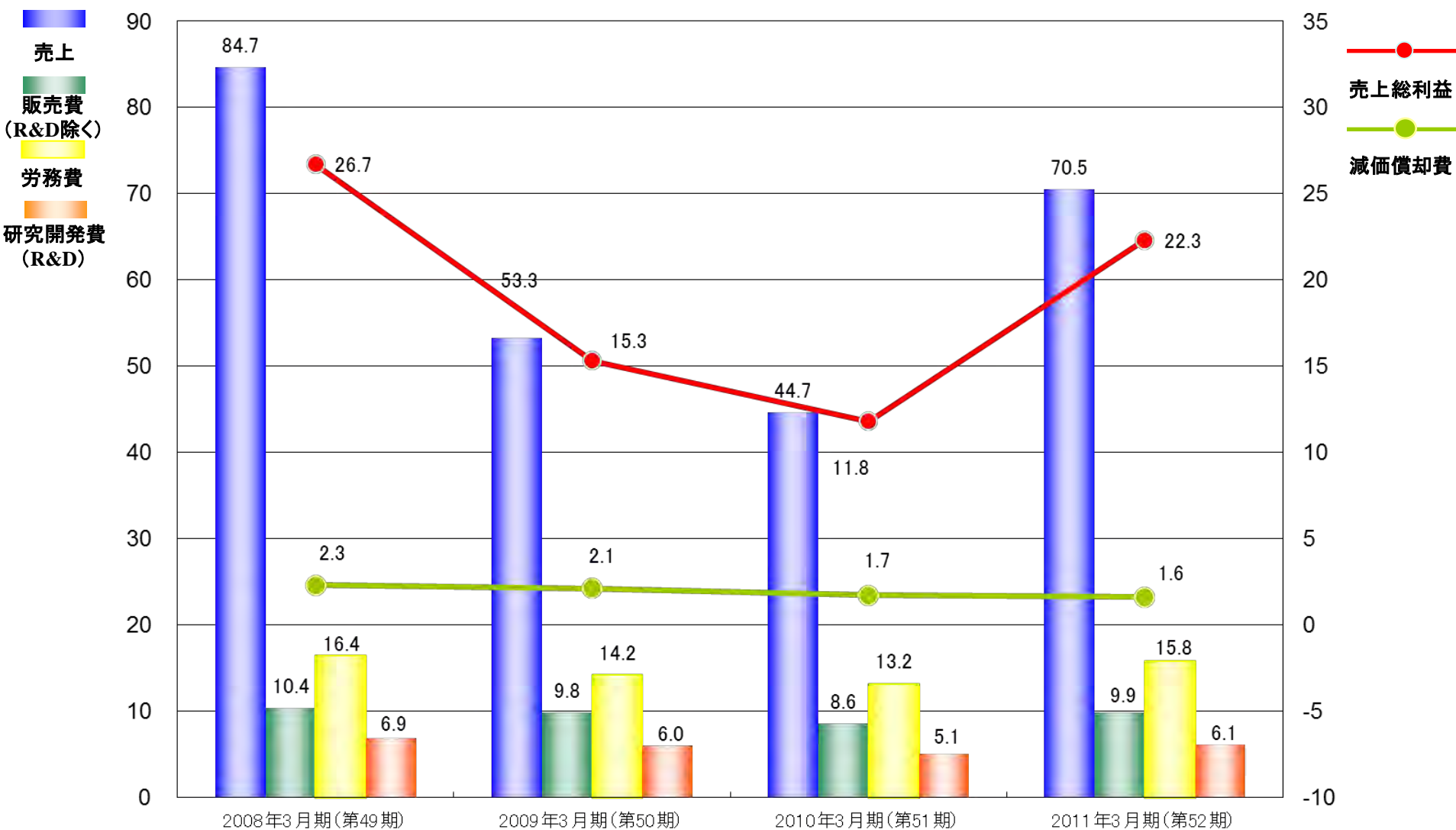
受託製品 品目別売上
単位:百万円)

2011年3月期決算・業績（経営成績）

単位：億円

2008年3月期(第49期)－2011年3月期(第52期)

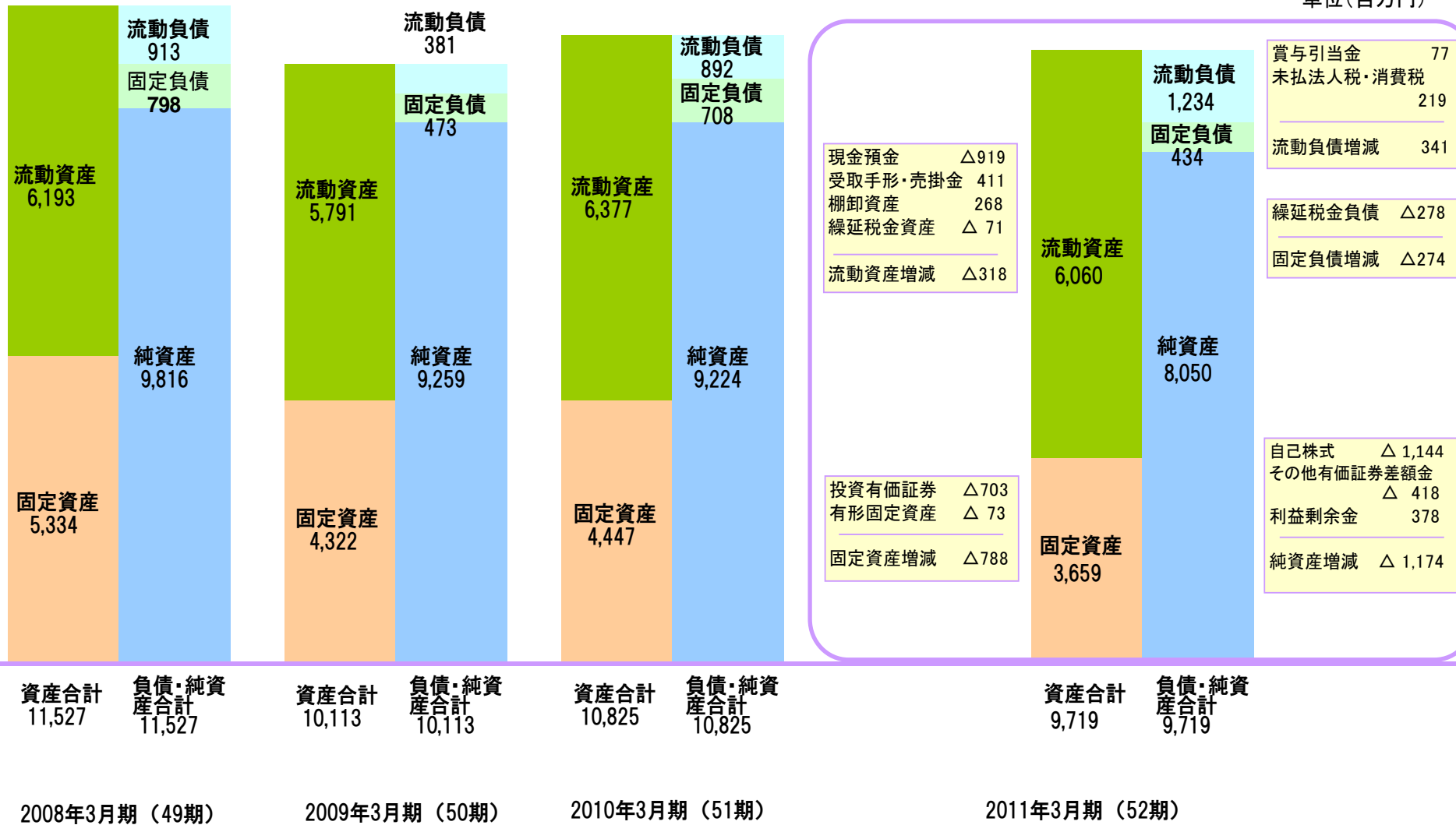
単位：億円



2011年3月期決算・業績（財政状態）

2008年3月期(第49期)－2011年3月期(第52期決算)

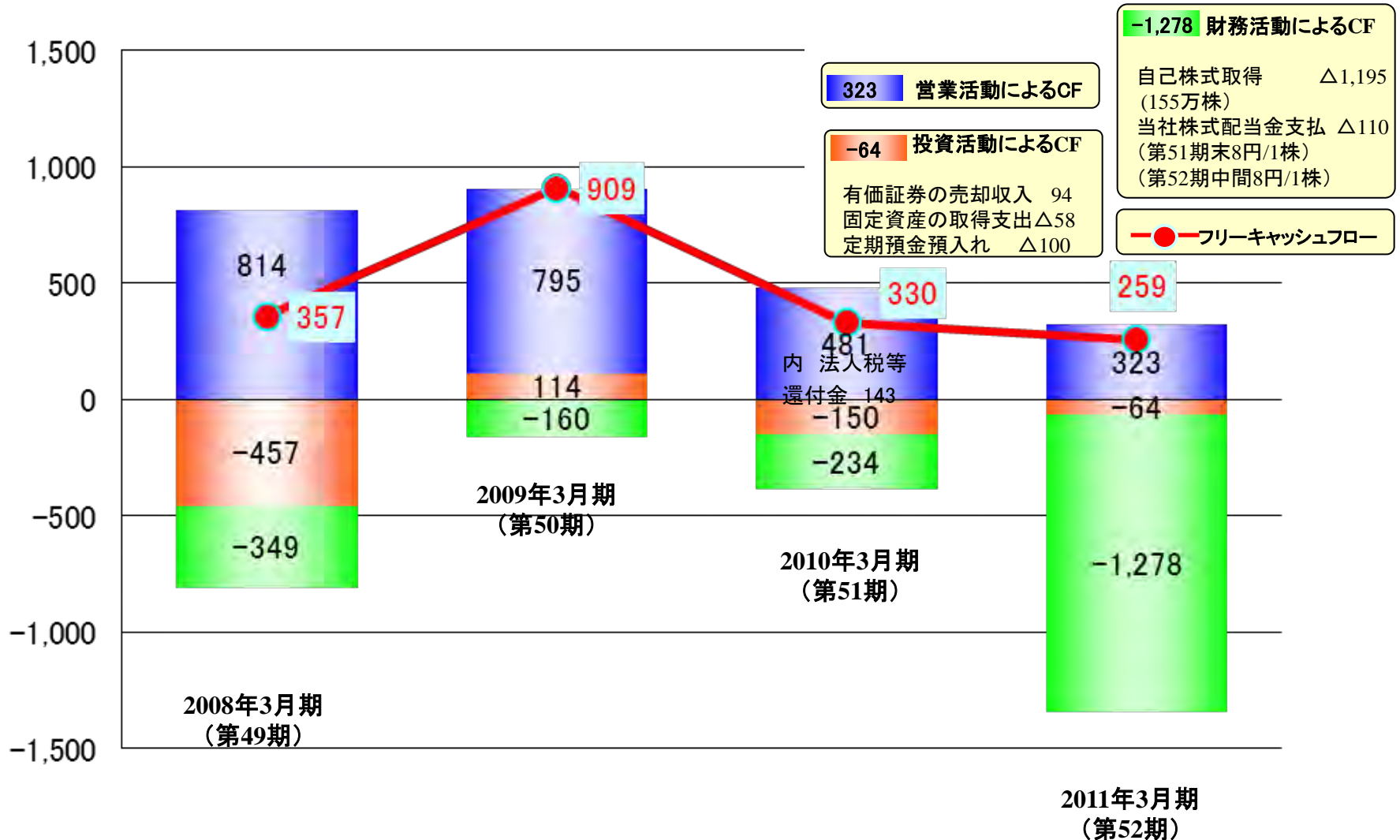
単位(百万円)



2011年3月期決算・業績(キャッシュフロー)

2008年3月期(第49期) - 2011年3月期(第52期) 決算

単位:百万円



より高速に、より精細に

既存製品のさらなる機能強化と拡張

組込

Intel ATOM採用省電力MPUボード
ACP-127 APC-134

画像

高速・低コスト版のキャプチャボード
APX-3312A APX-3313A

次世代カメラインターフェース
CorX-Press対応 APX-3662

通信

更なる高速アップを実現
(8Gbit/秒 16Gbit/秒)
APX-781 APX-782



新規分野への挑戦

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇒デジタル変換ボード
ADM-414/512 シリーズ化

高速デジタル⇒アナログ変換ボード
DAM-516



スマートグリッド

エネルギー変換用双方向
コンバータ電源シリーズ化



その他

リモート監視
総合管理ソフトウェア

FPGA-IPライブラリ
(PCIe-Gen2、DMA、etc.)



高速データ保存ボード
APX-880



超高速ラインナップ



MODEL: APX-3662

- ・次世代インターフェース『CoaXPress』対応
- ・6.25Gbit/s高速伝送
- ・ビデオ・通信・電源を1本の同軸ケーブルで転送 (max: 40m)



画像

MODEL: APX-500-414

- ・サンプリングクロック400MHz
- ・分解能: 14bit
- ・2ch入力



高速アナログ



MODEL: APX-782

- ・最速17Gbpsによるデータ通信
- ・光ファイバケーブルで接続し、メモリを共有
- ・通信プロトコル処理は全てハードウェアで実現



光通信

MODEL: APX-880

- ・SDカードによる
大容量ストレージボード
- ・最大: 2TByte搭載可能
- ・高速アクセス: 1.7GB/sを実現
(搭載容量: 1TByte時)



高速ストレージ



2012年3月期 業績計画

単位: 百万円(百万円未満四捨五入)

品目 / 項目		第53期2012年3月期 中間期計画				第53期2012年3月期 通期計画			
		連結		個別		連結		個別	
セグメント	品目	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率
自社製品	組込モジュール	385	3.9%	380	1.8%	790	11.6%	780	10.0%
	画像処理モジュール	340	18.3%	340	18.3%	710	11.4%	710	11.4%
	計測通信機器	345	31.7%	160	58.1%	805	20.9%	370	38.3%
	自社製品関連商品	130	84.3%	120	102.1%	270	51.7%	250	58.1%
	小計	1,200	21.2%	1,000	21.8%	2,575	17.6%	2,110	19.0%
受託製品	半導体製造装置関連	1,735	0.8%	1,420	-0.7%	3,500	4.4%	2,850	5.1%
	産業用制御機器	445	-0.4%	110	10.2%	915	6.0%	230	8.0%
	計測機器	330	8.2%	140	39.1%	710	10.6%	310	34.1%
	小計	2,510	1.5%	1,670	2.5%	5,125	5.5%	3,390	7.4%
売上合計		3,710	7.1%	2,670	8.9%	7,700	9.3%	5,500	11.6%
営業利益		350	29.8%	330	38.2%	790	26.6%	690	34.8%
経常利益		380	23.6%	375	32.4%	835	19.8%	745	26.3%
当期純利益		255	17.9%	255	23.6%	555	11.9%	520	15.3%

売上・利益・経営指標の推移—実績と計画

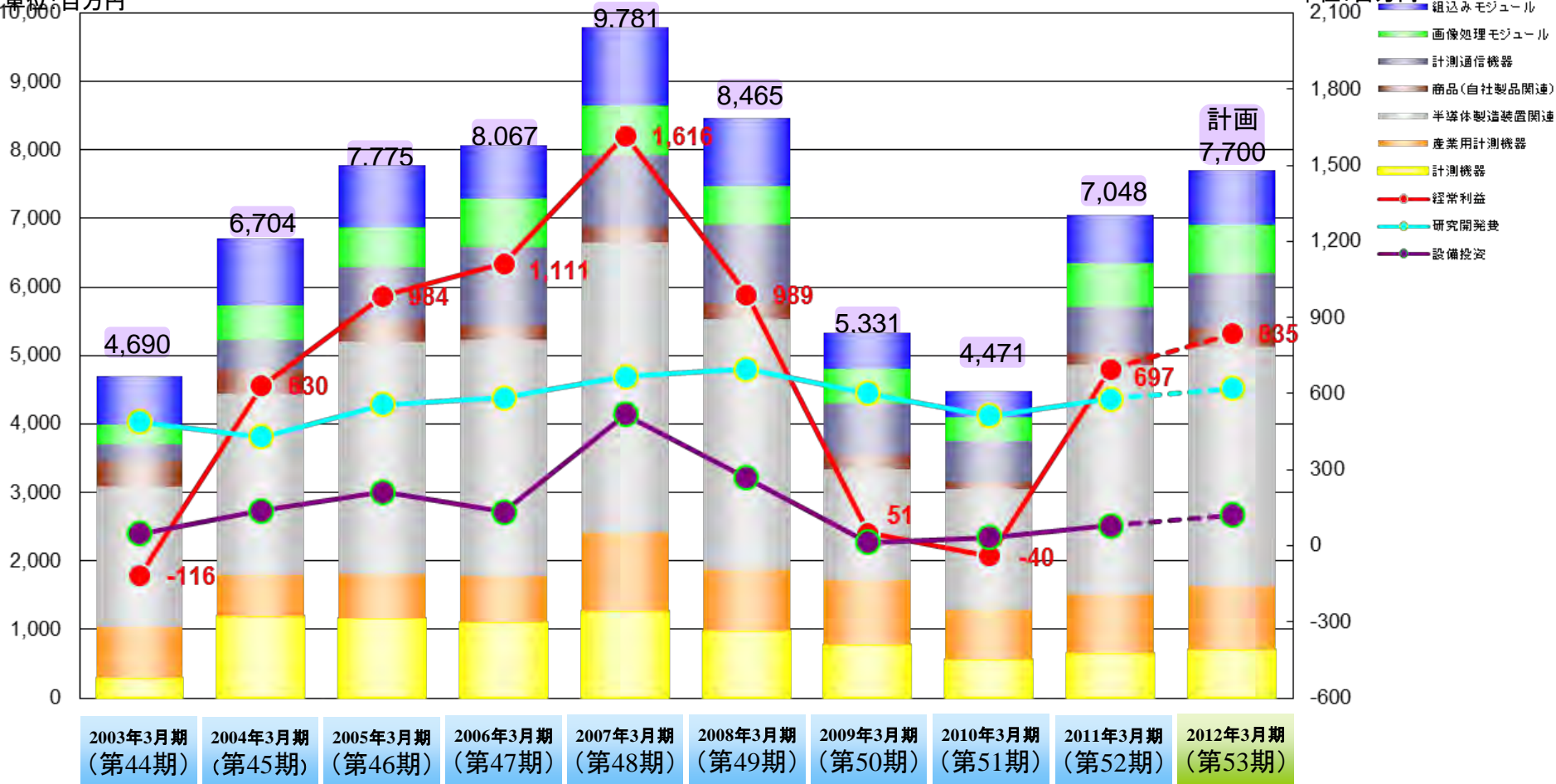
2003年3月期・第44期 — 2011年3月期・第52期 (2012年3月期・第53期: 計画)

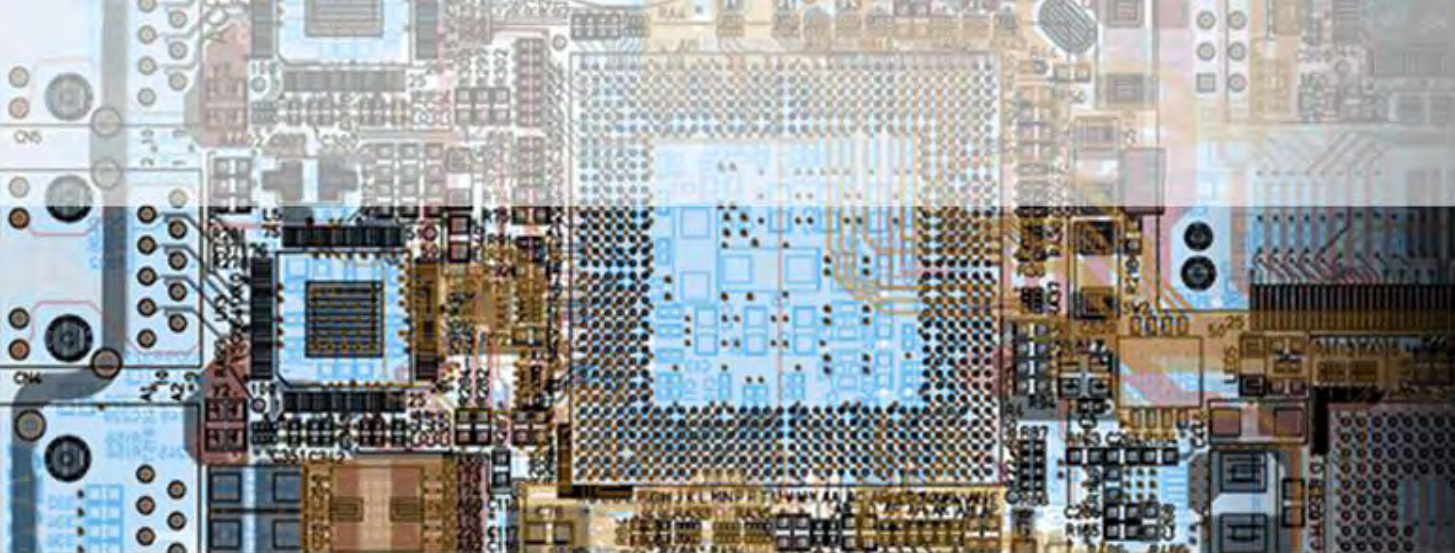
売上

経常利益

単位: 百万円

単位: 百万円





2011年中期経営計画概要

2012年3月期(第53期)－2014年3月期(第55期)

AaA

actionandachievement

実行と実現

2011年5月19日



連結売上
95億円

経常利益率
14%以上

ROE
10%

連結配当性向
目標30%

AaA

actionandachievement

実行と実現

AVALue⁺
強い体質を維持・攻めの経営へ

景気回復時の業界変革での飛躍

成長事業の確立

- 差別化された強い製品
- 新規分野の顧客開拓
- 新製品の売り上げ30%以上

強い体質強化

- 変化を捉える組織が「進化」
- 積極投資と固定費の最適化
- IR進化と社会的責任の遂行

生産性の最大化

- ARP・Expressで生産性向上
- 徹底した品質とコスト追求
- 業界トップの生産性実現

10%
以上/年

自助努力による年成長率

中期経営計画 成長のシナリオ(強いアバールGへ)

市場回復と予想される組込市場の変化への対応(激変する市場環境への対応と飛躍)

差別化された
新製品



高速アナログ スマートカメラ

パートナーとの
協業

販売提携

海外戦略

技術提携

新しい戦略製品



テラストレージ スマート電源

強い体質
強い財務基盤

拡大

維持

太陽電池・二次電池

検査・製造

新しい応用分野
(拡大)

バイオ・食品・薬剤

検査・製造・管理

鉄道・車両・船舶

制御・計器

リモート監視装置
データセンター
地震・火山監視
監視・計測・通信

スマートハウス
スマート電源

ECO・変換・管理

半導体/液晶
製造装置

装置・検査

FA用制御装置

装置・製造・検査

現在の主力製品
(維持)

CTI-FAXサーバー
コールバッグセンタ

返信・接続・管理

電力・制御装置

測定・監視・計測

中期経営計画 成長のシナリオ（製品・市場開拓）

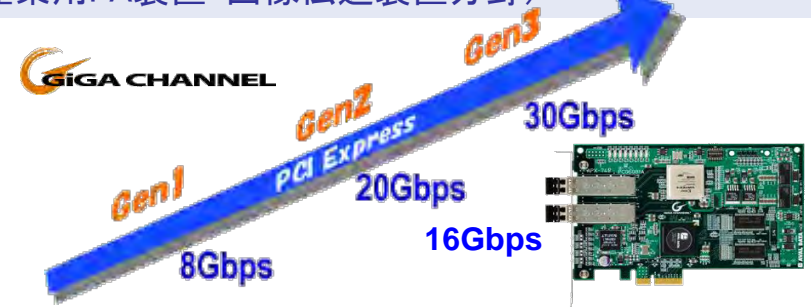
画像処理：コア技術を結集・応用分野拡大

- ソフト資産蓄積、コア技術IPI化、次世代カメラI/F
 - 強みを生かす新分野の顧客開拓
- （鉄道/交通・薬品/バイオ・太陽電池/2次電池分野）



Gigaチャンネル：製品を進化・応用分野拡大

- 自社IPコアデバイス搭載、機能とコストで差別化
 - 超高速・大容量の通信ニーズの取込み
- （産業用FA装置・画像伝送装置分野）



高速アナログ：差別化・新しい分野開拓

- 自社IPコアデバイス搭載、機能とコストで差別化
 - 超高速から普及製品まで広いニーズに対応
- （検査・計測・解析分野）

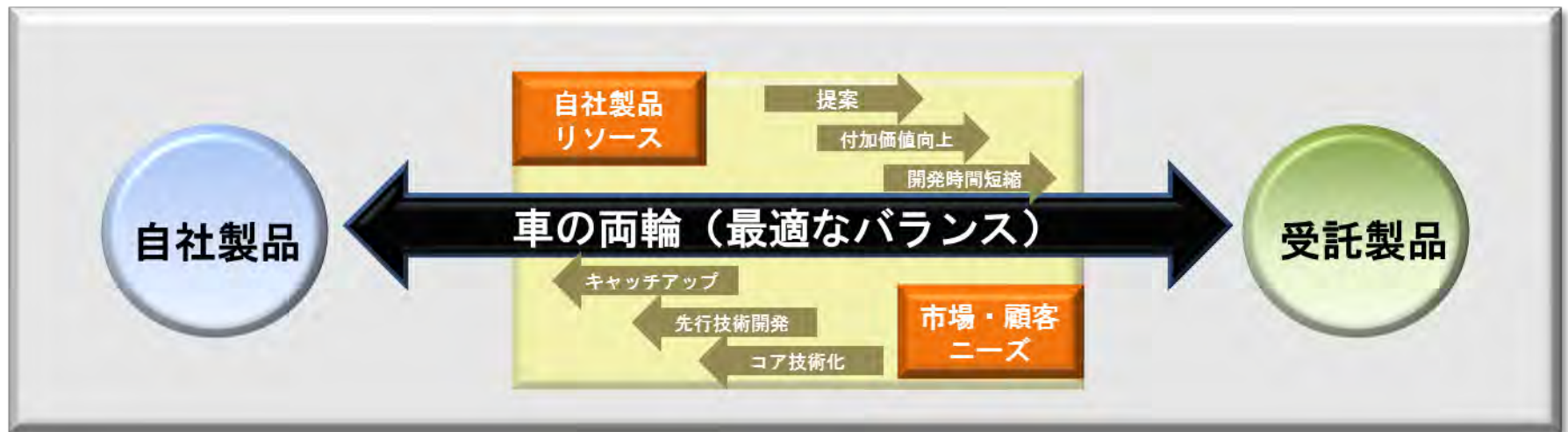
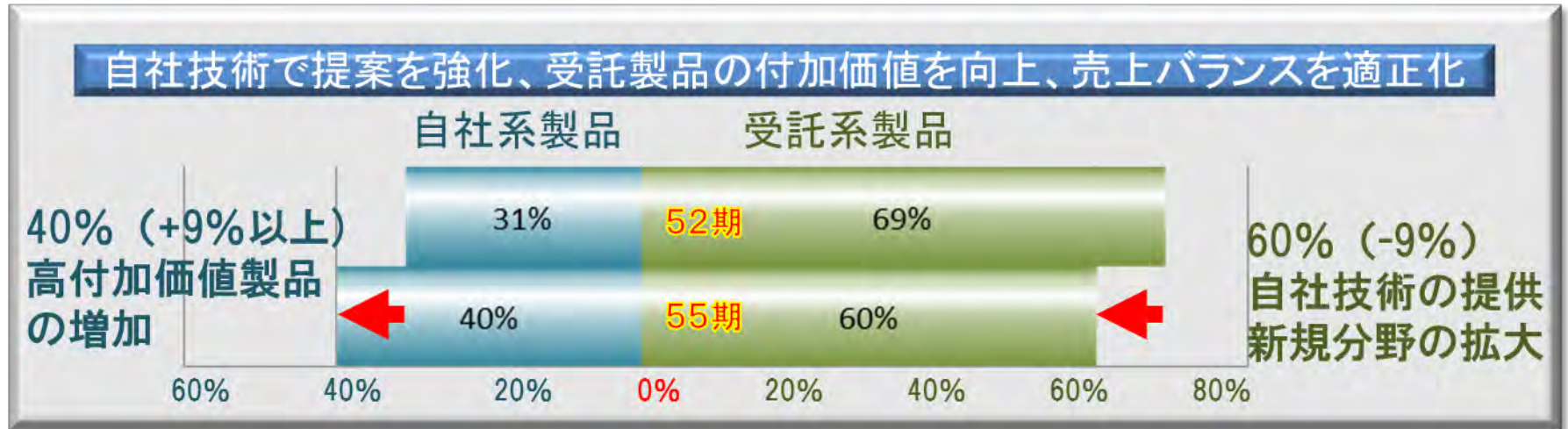


リモート監視：広いニーズ対応・市場拡大

- リモート監視製品の強化・充実（差別化対応）
 - エネルギーシフトに対応した産業用機器の開発
- （災害監視・データセンタ・スマート電源分野）

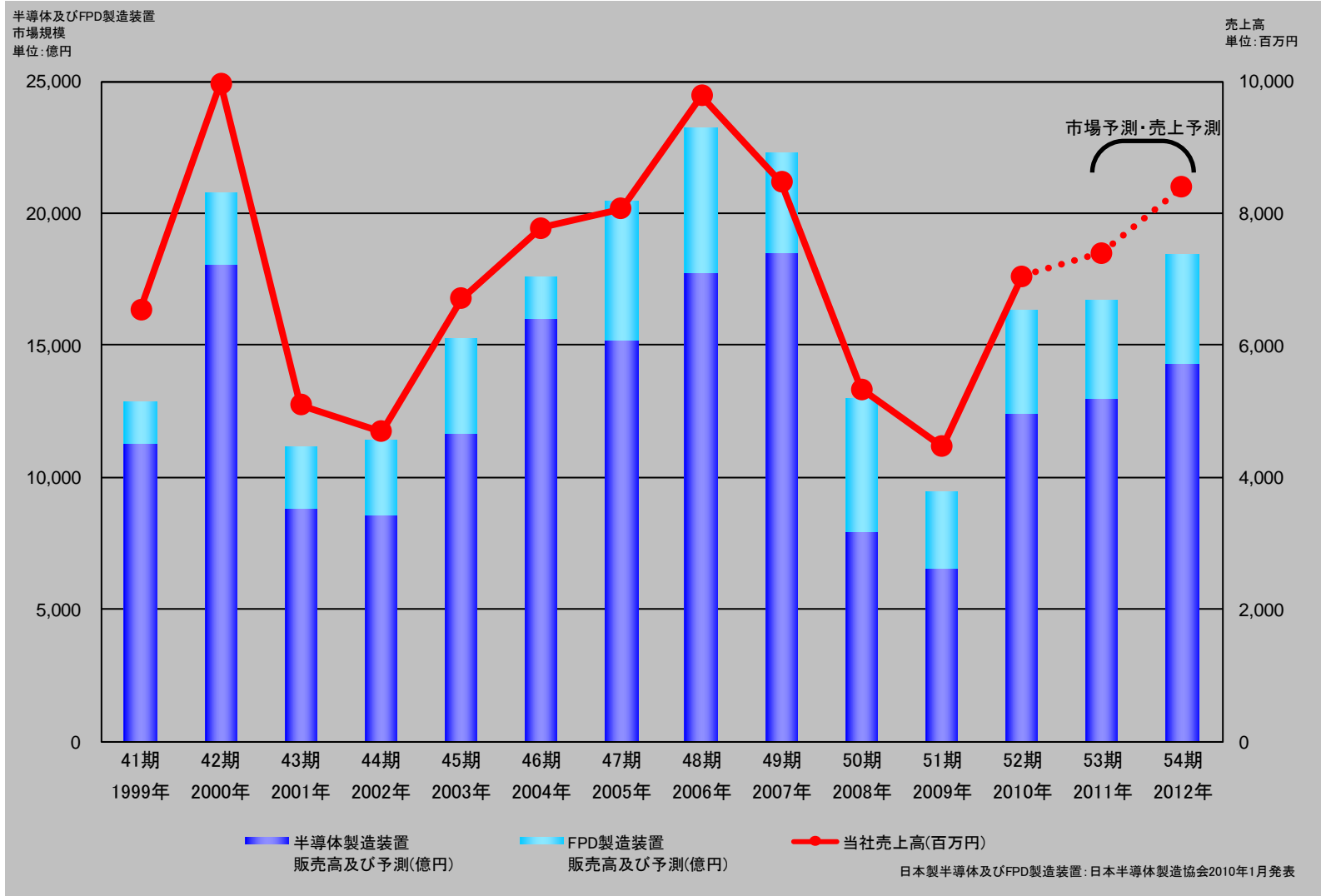


製品競争力・収益性を強化、「実行と実現力」で目標を達成！



長期・半導体/液晶製造装置市場と業績

2000年3月期・第41期—2013年3月期・第54期

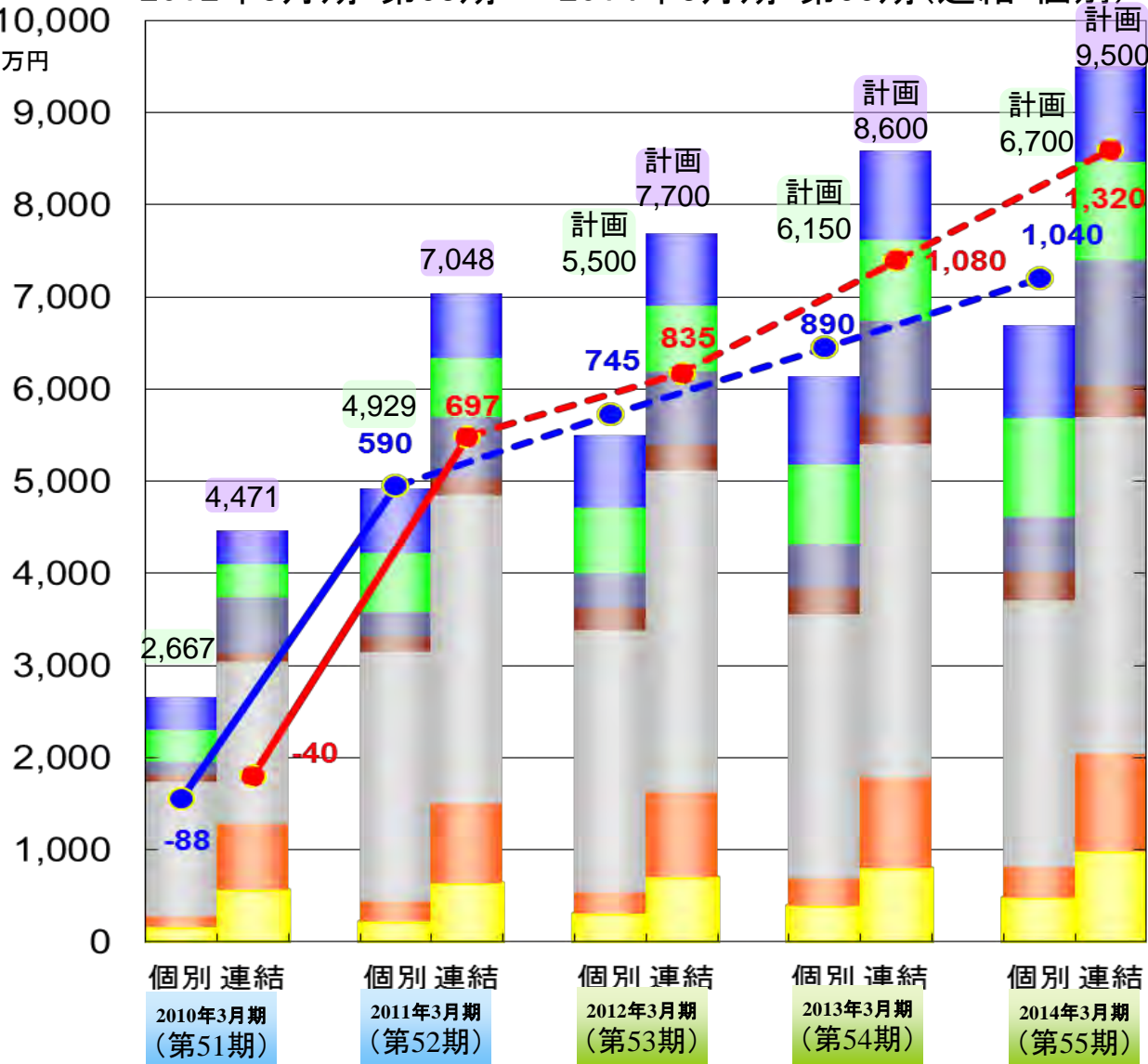


中期・品目別売上・利益計画

2012年3月期・第53期 — 2014年3月期・第55期(連結・個別)

売上
10,000
単位:百万円

経常利益
1,600
単位:百万円



- 組込みモジュール
- 画像処理モジュール
- 計測通信機器
- 商品(自社製品関連)
- 半導体製造装置関連
- 産業用計測機器
- 計測機器
- 経常利益: 個別
- 経常利益: 連結

実績

AVAL DATA CORPORATION



本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。